

パドルを搭載しなければならない

クラス規則変更にあたる理由

帆走指示書で「パドルを搭載しなければならない」などと規定することは、クラス規則変更にあたります。理由は以下の通りです。

クラス規則 C.5.2 (a) で、パドル 1 本を任意で搭載してよいと定められていますので、搭載を義務付けることは、クラス規則変更にあたります。

クラス規則を変更する以外の方法

クラス規則の下でも、選手は自身が必要であると判断すれば、任意にパドルを搭載することができます。ロッキングすれば、パドルで漕ぐ数倍の速度で、持続的に進むことができます。また、スピンプールを利用すれば、ある程度のスピードで漕ぐことも可能です。

【チャンピオンシップレベルの大会では】

風が落ちやすい、潮が速い、近くに航路があるなど、特殊な事情のあるレース海面で、不慣れな選手にとって危険がある場合には、そういった特殊な事情を選手に十分に説明することが適切です。ロッキングや、スピンプールで漕ぐ技術に自信のない選手はパドルを搭載するよう、推奨することができます。選手は、自身が必要であると判断すれば、パドルを搭載することができます。

【チャンピオンシップレベルではない大会では】

参加者のレベルが低く、風が落ちた時にスムーズな運営に支障を来す可能性が高いと考えられる場合、単にパドル搭載を義務付けるだけでは十分な効果は得られないでしょう。

そういったレベルの大会であると主催者が想定している場合には、不注意でスタート時刻に間に合わない艇を待つとは限らないこと、レースの合間に本部船から離れ過ぎないこと、パドルを搭載しても良いこと、スピンプールでも漕ぐことができること、ロッキングすればより速く進めることなどを、事前に十分にインフォメーションすることが、スムーズな運営のためにも、選手のレベル向上のためにも、より適切な方法といえます。自信のない選手はパドルを搭載するよう推奨することも一案です。

クラス規則を変更するー帆走指示書でパドル搭載を義務付けるー

“変更への同意”の取得申請のために、以下の4点をメールでご連絡ください。

- ①大会名
- ②大会期間
- ③パドル搭載を義務付けないと、起こる問題、その問題が起こる理由
- ④クラス規則を変更する以外の方法に示した方法より、たんにパドル搭載を義務付ける方がよい理由、もしくは、クラス規則を変更する以外の方法に示した方法に加えて、パドル搭載を義務付けなければならない理由